

## 問題 I

次の本文を読み、空欄 (1) (2) から (19) (20) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、下線部 (ア) から (ウ) に関連する設問1から設問3について、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

なお、各史料の原文は、適宜改めてある。A、BおよびCは、問題の作成上あえて伏字にしたものであり、同じ表記の箇所には同じ語句が入る。

鎌倉が武士による政治の中心地であった時代に著されたとされる『 (1) (2) 』には、次のような記述が見られる。

史料『 (1) (2) 』

年ニソヘ日ニソヘテハ、物ノ道理ヲノミ思ツバケテ……世中モヒサシクミテ侍レバ、昔ヨリウツリマカル道理モアハレニオボエテ…… (3) (4) ノ乱イデキテノチノコトモ、マタ世継ガモノガタリト申モノモカキツギタル人ナシ……ヒトスズニ世ノウツリカハリオトロヘクダルコトハリ、ヒトスズヲ申サバヤトオモヒテ思ヒツマクレバ……コレヲ思ツマクル心ヲモヤスメント思テカキツケ侍也

『 (1) (2) 』には、(3) (4) の乱が起こった後「ムサノ世」になったと評する記述も見られる。

『 (1) (2) 』と同時代に著されたとされる下記の『A』には、治承4年中の出来事から文永3年中の出来事までが編年体で記されている。『A』には、ある人物と歌人や僧との交流に関して、次のような記述が見られる。

史料『A』

京極侍従三位〔定家卿〕、相伝の私本の (5) (6) 一部を将軍家に献ず。是、二条中将〔雅経〕を以て尋ね被るるに依るなり。之に就き、去んぬる七日、羽林、之を請け取り、送り進らす。今日、到着するの間、広元朝臣、御所に持参す。

(中略)

将軍家、聊か御病悩。諸人、奔走す。但し、殊なる御事無し。是、若しくは去んぬる夜の御淵酔の余気か。爰に葉上僧正、御加持に候ずるの処、此の事を聞き、良薬と称し、本寺自り (ア) 茶一盞を召し進らす。

『A』に見える『 (5) (6) 』については、本格的な注釈書が仙覚の手によって著されたことが知られている。江戸の地に幕府を開いた人物も『A』を好んで読んだといわれる。

江戸が武士による政治の中心地であった時代の書籍やその著者等について見ると、この時代には、形式等を宋の書籍にない、後陽成天皇までの歴史を編年体で記した通史である『 (7) (8) 』が編纂されている。

歴史に関する書籍として、6代将軍や7代将軍の時期に政治を担った人物が著した『 (9) (10) 』があり、『 (9) (10) 』には次のような記述が見られる。

史料『 (9) (10) 』

神皇正統記ニ、 (11) (12) ヨリ上ツカタハ一向上古也。万ノ例ヲ勘フルニモ、仁和ヨリ下ツカタヲゾ申メル。五十六代清和幼主ニテ外祖良房摂政ス。是外戚専権ノ始〈一変〉。基経外舅ノ親ニヨリテ、陽成ヲ廢シ (11) (12) ヲ建シカバ、天下ノ権藤氏ニ歸ス。ソノノチ関白ヲ置キ或ハ置ザル代アリシカド、藤氏ノ権オノヅカラ日日盛也〈二変〉。六十三代冷泉ヨリ……後冷泉凡八代百三年ノ間ハ、外戚権ヲ専ニス〈三変〉。

他の分野にも目を向けると、江戸に私塾の (13) (14) を開いた人物が著した『B』は、<sup>(イ)</sup>8代将軍の求めに応じて著されたものといわれる。『B』には、次のような記述が見られる。

史料『B』

当時ハ旅宿ノ境界ナル故、金無テハナラヌ故、米ヲウリテ金ニシテ商人ヨリ物ヲ買テ日々ヲ送ル事ナレバ、商人主ト成テ武家ハ客也。……武家皆知行所ニ住スル時ハ、米ヲ売ラズニ事スム故、商人米ヲ欲ガル事ナレバ、武家主トナリテ商人客也。サレバ諸色ノ直段ハ武家ノ心儘ニ成事也。是皆古聖人ノ廣大甚深ナル智恵ヨリ出タル万古不易ノ掟也。

書籍に批判的内容・主張が記されることは珍しくない。次のような記述が見られる『 (15) (16) 』は、社会批判を記したものの1つに数えることができる。

史料『 (15) (16) 』

上無ケレバ下ヲ責メ取ル奢欲モ無シ、下無ケレバ上ニ諂ヒ巧ムコトモ無シ……各々耕シテ子ヲ育て、子壯ンニナリ能ク耕シテ親ヲ養ヒ子ヲ育て、一人之レヲ為レバ万万人之レヲ為テ、貪り取ル者無ケレバ貪ラルル者モ無ク、転定モ人倫モ別ツコト無ク、転定生ズレバ人倫耕シ、此ノ外一点ノ私事無シ。

次の『C』の著者である (17) (18) のように、書籍等で幕府の施政を難じた者が不利益を被ることがあったことも知られている。

史料『C』

当時 (19) (20) に嚴重に石火矢の備有て、却て安房、相模の海港に其備なし。此事甚不審。細カに思へば江戸の日本橋より唐、阿蘭陀迄境なしの水路也。然ルを此に備へずして (19) (20) にのミ備ルは何ぞや。

ほかにも、この時代には、『 (5) (6) 』がたとえば契沖や賀茂真淵によって研究され、それぞれによって書籍が著されており、<sup>(ウ)</sup>当時の人々の生活や文化、芸術等を窺い知ることができる書籍等も多く残されている。

〔設問 1〕

下線部（ア）に関連して、茶や茶室に関する記述として適切なものを次の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(21)	(22)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 臨濟宗の僧である康勝は、日本に茶をもたらし、茶の効用などを記した『喫茶養生記』を著した。
- [02] 武野紹鷗が創始した佗茶は、村田珠光に受け継がれ、堺出身の千利休が大成した。
- [03] 豊臣秀吉が催し、今井宗久や津田宗及などの茶人が参加した北野大茶湯は、身分や貧富にかかわらず多様な人々の参加も認めた。
- [04] 曹洞宗の禅院である妙喜庵の待庵は、豊臣秀吉の求めに応じて古田織部が設計に関わった茶室である。
- [05] 後醍醐天皇の弟の別邸として南北朝時代に作られた桂離宮は、茶室を巧みに取り入れた数寄屋造の建築物の代表例である。

〔設問 2〕

下線部（イ）の将軍在位中に起きた出来事に関する記述として適切なものを [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(23)	(24)
------	------

 にマークしなさい。

- [01] 大名に対して1万石当たり50石を上納させ、上納量に応じて参勤交代の江戸在府期間を短縮する施策が実施された。
- [02] 東海道品川宿の名主で『民間省要』の著者である田中丘隅が町奉行に登用された。
- [03] 一定期間は収穫量を予測して定めた同じ年貢率とする検見法から、その年の収穫量に応じて年貢率を定める定免法に改められた。
- [04] 田畑永代売買の禁止令など元和元年以降の法令を集成することが命じられた。
- [05] 貧しい人々に医療を施す小石川養生所が開設され、石川島に町人や無宿人のうち希望者に対して職業訓練を行う人足寄場が設けられた。

〔設問 3〕

下線部（ウ）に関連して、俳句や川柳、狂歌などに関する記述として適切なものを [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 

(25)	(26)
------	------

 にマークしなさい。なお、引用した各史料の原文は、適宜改めてある。

- [01] 『奥の細道』には、松尾芭蕉の「菜の花や月は東に日は西に」という作品が収められている。
- [02] 『笈の小文』には、与謝蕪村の「牡丹散て打重りぬ二三片」という作品が収められている。
- [03] 『万載狂歌集』には、蜀山人こと石川雅望の「侍が来ては買ってく高楊枝」という作品が収められている。
- [04] 『誹風柳多留』には、柄井川柳の「白河の清きに魚のすみかねてもとの濁りの田沼こひしき」という作品が収められている。
- [05] 『おらが春』には、小林一茶の「雀の子そこのけそこのけ御馬が通る」という作品が収められている。

[語群]

- |          |          |            |           |           |
|----------|----------|------------|-----------|-----------|
| 01. 吾妻鏡  | 02. 今鏡   | 03. 宇多     | 04. 浦賀    | 05. 大鏡    |
| 06. 大坂   | 07. 懷德堂  | 08. 懷風藻    | 09. 愚管抄   | 10. 熊沢蕃山  |
| 11. 稽古談  | 12. 經世秘策 | 13. 護園塾    | 14. 元亨釈書  | 15. 広益国産考 |
| 16. 光孝   | 17. 古義堂  | 18. 古今和歌集  | 19. 古事記伝  | 20. 古史通   |
| 21. 古史伝  | 22. 資治通鑑 | 23. 四条     | 24. 自然真營道 | 25. 下田    |
| 26. 下関   | 27. 拾遺愚草 | 28. 淳和     | 29. 貞観政要  | 30. 承久    |
| 31. 樵談治要 | 32. 芝蘭堂  | 33. 新古今和歌集 | 34. 新論    | 35. 朱雀    |
| 36. 鈴屋   | 37. 醍醐   | 38. 平忠常    | 39. 平将門   | 40. 高野長英  |
| 41. 歎異抄  | 42. 適々斎塾 | 43. 天皇記    | 44. 読史余論  | 45. 長崎    |
| 46. 仁明   | 47. 農政本論 | 48. 箱館     | 49. 林子平   | 50. 藩翰譜   |
| 51. 平治   | 52. 保元   | 53. 本多利明   | 54. 本朝通鑑  | 55. 万葉集   |
| 56. 水鏡   | 57. 文徳   | 58. 山鹿素行   | 59. 山県大弐  | 60. 横浜    |
| 61. 梁塵秘抄 | 62. 類聚国史 | 63. 類聚神祇本源 | 64. 和漢朗詠集 | 65. 渡辺崋山  |

## 問題 II

ある人物 (X) に関わりのある史料 A, B および C と、関連する解説文を読み、設問 1 から 4 について、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙 (27) (28) から (49) (50) にマークしなさい。なお、各史料の原文は、適宜改めてある。(X), (Y) は、問題の作成上あえて伏字にしたものであり、同じ表記の箇所には同じ語句が入る。

### 史料 A

最悪なる事態に立至ることは我 (Y) の一大瑕瑾たるべきも、(27) (28) の世論は今日迄の所未だ (Y) の変更と迄は進み居らず。……つらつら思ふに我が国内外の情勢は今や共産革命に向って急速に進行しつつありと存ず。即ち国外に於てはソ連の異常なる進出之なり。……殊に最近 (29) (30) 解散以来、赤化の危険を軽視する傾向顕著なるが、これは皮相且つ安易なる視方なり。……戦局の前途につき何等か一縷でも打開の理ありと云ふならば格別なれど、最悪の事態必至の前提の下に論ずれば、勝利の見込なき戦争を之以上継続することは全く共産党の手に乗るものと云ふべく、……一日も速に戦争終結の方途を講ずべきものなりと確信す。

\*瑕瑾(かきん) 全体としてすぐれたものの中であって惜しむべき小さな傷。

### 解説文 A

史料 A は、(X) が記した文書として知られ、従前の日本が赤化に無警戒であったことを指摘するとともに、それを阻止するためにも戦争の早期終結が必要であることを訴えている。(X) は (Y) の存続に関心を示している。このように近代日本の歴史上、(Y) の概念は、種々の時期や場面において争点になり注目された。ある学者の学説が物議を醸したとき、時の (31) (32) 内閣は、(Y) の概念を明らかにするとの趣旨から、この学説を否定する声明を出す。貴族院議員でもあったこの学者は、議員辞職に追い込まれることになった。

### 史料 B

① 帝国陸海軍は、克く広東、武漢三鎮を攻略して、支那の要域を戡定したり。(33) (34) は既に地方の一政権に過ぎず。……日満支三国相携え、政治、経済、文化等各般に亘り互助連環の関係を樹立するを以て根幹と……期するにあり。帝国か支那に望む所は、この (35) (36) 建設の任務を分担せんことに在り。

\*戡定(かんてい) 武力で乱をしずめること。

② 日満支三国は (35) (36) の建設を共同の目的として結合し、相互に善隣友好、共同防共、経済提携の実を挙げんとするものである……。東亜の天地には「(29) (30)」勢力の存在を許すへからさるか故に、日本は (37) (38) の精神に則り、日支防共協定の締結を以て、日支国交調整上喫緊の要件とするものである。

③ 帝国政府は (39) (40) 攻略後尚ほ (33) (34) の反省に最後の機会を与ふるため今日に及へり。然るに (33) (34) は帝国の真意を解せず漫りに抗戦を策し、内民人塗炭の苦みを察せず、外東亜全局の和平を顧みる所なし。仍て帝国政府は爾後 (33) (34) を對手とせず……。

史料C

(27) (28) の平和主義は現状維持を便利とするものゝ唱ふる事勿れ主義にして何等正義人道と関係なきものなるに拘らず、…… (27) (28) 本位の平和主義にかぶれ (41) (42) を天来の福音の如く渴仰するの態度あるは実に卑屈千万にして正義人道より見て蛇蝎視すべきものなり。……日本として主張せざる可らざる先決問題は経済的帝国主義の排斥と黄白人の無差別的待遇是なり。……正義人道に本く世界各国国民平等生存権の確立の為にも、経済的帝国主義を排して各国をして其殖民地を開放せしめ、製造工業品の市場としても、天然資源の供給地としても、之を各国平等の使用に供し、自国にのみ独占するが如き事なからしむるを要す。

解説文C

(X) は、日本がサイレントパートナーであると揶揄されることになる国際会議に随員として参加した。史料Cは、この国際会議の開催を前にして (X) が執筆し、雑誌に掲載された論文の抜粋であるが、会議以降に構築されるであろう国際秩序を偽善と捉える考えが提示されていて興味深い。この会議で日本は、史料Cの下線部にあるような考えに即した提案をするが、(27) (28) をはじめとする参加国の賛同を得られず、成立することはなかった。

(X) は、(43) (44) の教えを受けることを希望し京都帝国大学に進学した経歴を有する。(43) (44) は、大阪朝日新聞に、「驚くべきは現時の文明国における多数人の貧乏である」と書き出す評論を連載し、貧乏廃絶のためには金持ちの奢侈を止めさせる必要があると説いていた。(43) (44) は、社会主義、さらには共産主義に傾斜していく経済学者であったが、史料Cに見える「平等生存権」「経済的帝国主義」の文言には、(X) が(43) (44) の思想に共鳴していたことが窺える。

〔設問1〕

史料A、BおよびCと、それらの解説文の空欄 (27) (28) から (43) (44) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

〔設問2〕

史料A、BおよびCを、年代の古いものから順に並べた場合、正しい並び順を [01] から [06] のなかより選び、その番号を解答欄 (45) (46) にマークしなさい。

- [01] A－B－C
- [02] A－C－B
- [03] B－A－C
- [04] B－C－A
- [05] C－A－B
- [06] C－B－A

[設問 3]

史料Bの①、②および③を、年代の古いものから順に並べた場合、正しい並び順を [01] から [06] のなかより選び、その番号を解答欄 (47) (48) にマークしなさい。

- [01] ①－②－③
- [02] ①－③－②
- [03] ②－①－③
- [04] ②－③－①
- [05] ③－①－②
- [06] ③－②－①

[設問 4]

史料Bは、ある戦争が勃発してから日本政府が対外的に発した声明である。この戦争の勃発からこれらの声明が発せられるまでに起きた出来事として適切なものを [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (49) (50) にマークしなさい。

- [01] 戦時を担う少年少女を教育するため、小学校が「国民学校」に改称された。
- [02] 駐日米国大使トラウトマンは、戦争収束に向けた仲介工作を行うも結実しなかった。
- [03] 石川達三は、小説『武漢作戦』を発表したが、発禁処分を受けた。
- [04] 紀元二千六百年記念式典が、皇居前で挙行された。
- [05] 戦時の物資動員計画を策定するため企画院が創設された。

[語群]

- |                 |           |                |             |              |
|-----------------|-----------|----------------|-------------|--------------|
| 01. ABCDライン     | 02. 阿部信行  | 03. 有沢広巳       | 04. 英国政府    | 05. 英仏       |
| 06. 英米          | 07. 円ブロック | 08. 汪兆銘政府      | 09. 大内兵衛    | 10. 岡田啓介     |
| 11. 尾崎秀実        | 12. 賀川豊彦  | 13. 河合栄治郎      | 14. 河上肇     | 15. 冀東防共自治政府 |
| 16. 国際連盟        | 17. 国民政府  | 18. コミンテルン     | 19. コミンフォルム | 20. コメコン     |
| 21. 斎藤実         | 22. 鈴木貫太郎 | 23. 絶対国防圏      | 24. 大西洋憲章   | 25. 大東亜共栄圏   |
| 26. 第2インターナショナル |           | 27. 大連         | 28. 滝川幸辰    | 29. 塘沽停戦協定   |
| 30. 中ソ          | 31. 天津    | 32. 東亜新秩序      | 33. 独伊      | 34. 独墺       |
| 35. 独ソ          | 36. 南京    | 37. 日独伊三国同盟    | 38. 日独伊防共協定 | 39. 日独防共協定   |
| 40. 日満議定書       | 41. 熱河    | 42. 野呂栄太郎      | 43. 平沼騏一郎   | 44. 広田弘毅     |
| 45. 不戦条約        | 46. 米国政府  | 47. 北京         | 48. 奉天      | 49. 松岡洋右     |
| 50. 満州国         | 51. 森戸辰男  | 52. 矢内原忠雄      | 53. 米内光政    | 54. 旅順       |
| 55. ロシア政府       | 56. 露独仏   | 57. ロンドン海軍軍縮条約 |             |              |
| 58. ワシントン海軍軍縮条約 |           | 59. ワルシャワ条約機構  |             |              |

### 問題 III

次の史料および解説文は、琉球・沖縄についてのものである。それぞれの史料および解説文の空欄 (51) (52) , (53) (54) , (61) (62) , (63) (64) , (65) (66) に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。また、設問 1 から 8 について、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

なお、各史料の原文は、適宜改めてある。また、(X) (Y) は、問題の作成上あえて伏字にしたものであり、同じ表記の箇所には同じ語句が入る。

#### 史料 A

(51) (52) 琉球へ渡り給ひしといふ説、原何の書に出ることをしらず。しかれども神社考に云、「(51) (52) 八丈島より鬼界に行、琉球に亘る。今に至り諸島祠を建て島神とす」といふ。寺嶋が和漢三才図絵に又云、「(51) (52) 大嶋を遁出て琉球国に到り、魑魅を駆て百姓を安くす。洲民その徳を感じて主とせり。(51) (52) 逝去のち、球人祠をたて、神号して舜天太神宮といふ」といへり。……抑琉球は、その国偏小にして、南北長さ四十余里、東西は狭くして、十里に過ずとなん。その都を首里といふ。この余の郡県を間切と唱、その地の領主を (53) (54) といふ。

#### 解説文 A

史料 A は、九州に追放された際にその地帯を支配して鎮西八郎を自称したとされ、伊豆大島に流罪になった (51) (52) を主人公として、日本と琉球の歴史を取り上げた読本『①』の抜粋である。

文化・文政時代に刊行された読本『①』は、葛飾北斎が挿絵を描いたこともあり、町人の中で広く読まれた。江戸時代に刊行された読本としては、大坂の国学者が著した『②』も知られている。一方、幕府は庶民の風俗を取りしめる動きを見せ、歌川国貞が挿絵を描いた合巻『③』はその対象となり、絶版とされた。

#### 〔設問 1〕

以下の [01] から [05] の文章のうち、琉球王国に関する説明として適切なものを選び、その番号を解答欄 (55) (56) にマークしなさい。

- [01] 沖縄本島の有力商人は十三湊を拠点として貿易を行った。
- [02] 三山のうち中山には、玉城城、今帰仁城などのグスク（城）が築かれた。
- [03] 尚巴志は首里に王府をおき、第二尚氏王朝を作り上げた。
- [04] 琉球王国は第一尚氏王朝と第二尚氏王朝を合わせると江戸幕府よりも長く続いた。
- [05] 琉球王国は朝鮮とも貿易を行い、癸亥約条を締結した。



〔設問 2〕

以下の [01] から [05] の文章のうち、琉球王国に関する説明として適切なものを選び、その番号を解答欄

(57) (58) にマークしなさい。

- [01] 薩摩藩の島津家久が1609年に琉球王国に出兵し、国王の尚寧を服属させたが、琉球王国と清の朝貢関係は継続した。
- [02] 『おもろさうし』は、琉球王国が貿易を行うにあたって海外事情を記録した書籍であり、当時の交易の状況を伝えている。
- [03] 琉球王国では、古琉球以来の伝統的な社会文化が維持され、薩摩藩による検地は行われなかった。
- [04] 琉球国王は、国王の即位を感謝する謝恩使、徳川将軍の代替りを祝賀する慶賀使を江戸に送ったが、この両者が同時に送られることもあった。
- [05] 日米和親条約の締結に先立って、琉球王国はアメリカとの間に修好条約を締結した。

〔設問 3〕

解説文 A に関連して、① から ③ に入る文学作品名として適切な組み合わせを [01] から [08] より選び、その番号を解答欄 (59) (60) にマークしなさい。

	①	②	③
[01]	雨月物語	椿説弓張月	修紫田舎源氏
[02]	雨月物語	修紫田舎源氏	椿説弓張月
[03]	修紫田舎源氏	雨月物語	西域物語
[04]	修紫田舎源氏	西域物語	椿説弓張月
[05]	椿説弓張月	西域物語	雨月物語
[06]	椿説弓張月	雨月物語	修紫田舎源氏
[07]	西域物語	椿説弓張月	西域物語
[08]	西域物語	修紫田舎源氏	雨月物語

(61) (62) : 議案の趣意を簡単に説明せむ先般御諮詢ありたる選挙法改正案が成立したらむには選挙法は当然沖縄県に施行せらるゝこととなるべき筈なり然るに該案は帝国議会の (63) (64) を得ること能はざりしか故に現行法の下に於て沖縄県より議員を選出せしむるか為めに本案を提出したるなり……沖縄県にても近年府県制其の他の地方制度をも実行し今日に於ては其の事情内地と異らざるに至りたるを以て内地と同様に議員を選出せしめて支障なきものと信す

## 解説文B

明治初期の琉球処分により日本に編入された後も、本土と沖縄では様々な差異が存在したが、その差異の一つが選挙制度であった。史料Bは、地方制度の整備がようやく進み始めた沖縄県において衆議院議員選挙を実施するための施策についてのものである。(61) (62) は衆議院議員選挙法の改正により (X) を導入することとともに、沖縄県において衆議院議員選挙を実施することを試みたが、史料Bにおいて言及された帝国議会においては同法の改正には至らなかった。そこで、沖縄県における衆議院議員選挙を (65) (66) により実施するための施策については枢密院に諮詢され、その結果、沖縄県から初の衆議院議員が選出された。(X) の導入は (61) (62) が後に実現させることになる。

## 〔設問4〕

(61) (62) は、所属する政党の総裁が初めて政権を担った時に内務大臣に就任する。この時の内閣が行った施策について述べたものとして適切なものを選び、その番号を解答欄 (67) (68) にマークしなさい。

- [01] 日本社会党の結成を認めたが、その後結社禁止を命じた。
- [02] 郵便制度に全国均一料金を導入した。
- [03] 労働者保護を目的とする工場法を制定・公布した。
- [04] それまで軍人のみが就任していた台湾総督に、文官の田健治郎を就任させた。
- [05] 社会主義思想の拡大を警戒し、治安維持法を制定・公布した。

## 〔設問5〕

(61) (62) によりこの施策が諮詢された枢密院は、一部の (65) (66) などについて天皇の諮詢に応え、重要な国務を審議する機関である。以下の01から05の文章のうち、枢密院に関する説明として適切でないものを選び、その番号を解答欄 (69) (70) にマークしなさい。

- [01] 大日本帝国憲法第56条は、枢密顧問が天皇の諮詢に応じて重要な国務を審議することを規定した。
- [02] 枢密院において重要な役割を担った伊東巳代治は、井上毅・金子堅太郎と共に大日本帝国憲法の起草に関与した。
- [03] 枢密院の諮詢事項には、条約等が含まれるが、大日本帝国憲法に附属する法律は含まれなかった。
- [04] 枢密院に諮詢された明治期の皇室典範は、大日本帝国憲法と異なり官報に掲載されなかった。
- [05] 占領下において行われた日本国憲法の制定過程では枢密院における審査が行われたが、その席上で制定の手續きに異議を申し立てた者もいた。

史料C

堀切善次郎：今回の改正は、新事態の要請致します最も緊要と認められます根本的問題を骨子と致しまして、之に伴ふ已むを得ない若干の改正を行ふことに止めることを立案の方針と致しまして、選挙法の全面に亘りまして詳細なる研究を遂げますことは、之を他日に譲ることに致した次第であります、其の骨子と致して居ります点は、只今総理大臣より述べられました如く、選挙権及び被選挙権の拡張、 ……でございます、……以上が選挙法改正案の大体の内容でございますが、尚右に関連致しまして、臨時特別の措置と致しまして、二三特殊の問題を同法律案の附則で規定を致して居るのであります、……其の四は、沖縄県、千島、其の他海上交通杜絶、其の他特別の事情にある地域にして   を以て指定するものは、現下の特殊の事態に鑑みまして、  を以て定める迄は選挙を行はなことに致したのであります

解説文C

太平洋戦争の末期、沖縄は官民ともに甚大な被害を伴った地上戦の結果、アメリカ軍によって占領統治された。史料Cは、初めて衆議院における女性の参政権を認めることなどを定めた法改正についての議事録である。 は、投票制度は異なるものの、1900年にも導入されたことがある。この改正の少し後から、沖縄を含めた地域における衆議院議員選挙は当面の間実施しないこととされた。

〔設問6〕

沖縄においては、沖縄守備軍司令官牛島満が1945年6月に自決したことで、組織的な戦闘が終結した。沖縄戦の終結に至るまでに生じた以下の [01] から [05] の出来事を古い順に並べた場合、3番目にくるものの番号を解答欄   にマークしなさい。

[01] ガダルカナル島撤退

[02] ミッドウェー海戦敗北

[03] サイパン陥落

[04] 硫黄島陥落

[05] アッツ島陥落

〔設問7〕

以下の [01] から [05] の文章のうち、  の形式によって行われた施策に当てはまらないものを選び、その番号を解答欄   にマークしなさい。

[01] 1907年3月、義務教育が6年間に延長され、翌年4月から実施された。

[02] 1927年4月、金融恐慌に対応して3週間の支払い猶予が認められた。

[03] 1938年4月、日本発送電株式会社を設立して発電および送電の管理が行われるようになった。

[04] 1939年10月、9月18日を基準とする公定価格が定められた。

[05] 1946年2月、戦争協力者や国家主義者などを公職から追放することが決定された。

〔設問 8〕

以下の [01] から [06] のうち、解説文B中の (X) と史料Cおよび解説文Cの中の (Y) の組み合わせとして適切なものを選び、その番号を解答欄 (75) (76) にマークしなさい。

- [01] X = 普通選挙制 Y = 大選挙区制  
[02] X = 大選挙区制 Y = 小選挙区制  
[03] X = 比例代表制 Y = 大選挙区制  
[04] X = 普通選挙制 Y = 小選挙区制  
[05] X = 小選挙区制 Y = 大選挙区制  
[06] X = 比例代表制 Y = 小選挙区制

〔語群〕

- |          |           |           |         |          |
|----------|-----------|-----------|---------|----------|
| 01. 按司   | 02. 按察使   | 03. 伊波普猷  | 04. 桂太郎 | 05. 加藤高明 |
| 06. 樺山資紀 | 07. 規則    | 08. 協賛    | 09. 郷長  | 10. 告諭   |
| 11. 後藤新平 | 12. 西園寺公望 | 13. 沙汰    | 14. 条規  | 15. 詔書   |
| 16. 条坊   | 17. 条例    | 18. 政令    | 19. 宣旨  | 20. 宣布   |
| 21. 先例   | 22. 平重盛   | 23. 平忠正   | 24. 平宗盛 | 25. 平頼綱  |
| 26. 勅令   | 27. 佃     | 28. 床次竹二郎 | 29. 内覧  | 30. 原敬   |
| 31. 封主   | 32. 輔弼    | 33. 源為朝   | 34. 源為義 | 35. 源義家  |
| 36. 源頼光  | 37. 山県有朋  | 38. 結     | 39. 翼賛  | 40. 連署   |

※受験生の便宜を考え、人名については姓と名を表記している。

## 問題 IV

次の史料①から⑤は、ある首相経験者 (A) に対するインタビュー記録である。なお、各史料の原文は、適宜改められている。(A) から (E) には、それぞれ同じ人物名が入る。

設問1, 6, 8, 9, 11については、空欄に入る最も適切な語句を語群より選び、その番号を解答用紙の所定の欄にマークしなさい。それ以外の設問については、それぞれの指示に従って番号を選び、解答用紙の所定の欄にマークしなさい。

### 史料①

(私が) 政治の中央における大きな舞台に登場したのは、今考えてみますと、1954年の暮に (B) さんが退陣されて第一次鳩山内閣ができてからあと、つまり1955年(昭和30年)以降のことですね。鳩山さんは総理になられると、それまでの向米一辺倒の (B) さんとの色彩をかえるために、ソ連との国交回復を大きくとりあげた。

### 〔設問1〕

犬養健法相が指揮権を発動し、下線部(ア)の要因の一つとなった出来事として適切なものを語群より選び、その番号を解答欄 (77) (78) にマークしなさい。

### 〔設問2〕

次の [01] から [05] の文章のうち、(B) の政権担当時にに関する説明文として適切なものを選び、その番号を解答欄 (79) (80) にマークしなさい。

- [01] 日米安全保障条約により、アメリカ軍の日本駐留が認められたが、サンフランシスコ平和条約においてもアメリカ軍の駐留を可能にする規定が盛り込まれていた。
- [02] アメリカの要請に従って、治安維持法や特別高等警察の廃止をはじめとする自由化政策が推進された。
- [03] 朝鮮戦争の勃発にともない、日本の警察力不足を補うため警察予備隊が設置され、その後自衛隊に改編されたが、旧軍関係者は所属できないこととされた。
- [04] 日本の防衛力を強化する目的で、アメリカとの間にMSA協定を締結しようとしたが国会の承認が得られず、その締結は鳩山内閣期に持ち越された。
- [05] 米軍基地に反対する住民運動が激化したため、警察法が改正され、全国の市町村に自治体警察が設置された。

### 〔設問3〕

下線部(イ)に関連して、日本とソ連との関係について述べた文章として適切なものを次の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (81) (82) にマークしなさい。

- [01] 1922年、加藤友三郎内閣は英、米、伊、ソ連等の9カ国の間で9カ国条約を結び、中国の主権尊重、中国における門戸開放、機会均等などを約した。
- [02] 1945年、日本は連合軍に占領されたが、実質的にアメリカ軍による占領となった。ただし連合国による日本占領政策の最高機関としてワシントンに極東委員会が置かれ、ここにはソ連も参加していた。
- [03] 1941年、東条英機内閣はソ連との間で日ソ中立条約を結んだが、1945年8月、ソ連は突如日本に対して宣戦を布告し、満州等を占領した。
- [04] 1945年、ソ連書記長スターリンはアメリカ大統領F.ルーズベルト、イギリス首相チャーチルとともにポツダム会談を開き、米、英、ソ連の3カ国の名でポツダム宣言を発した。
- [05] 1956年、日ソ共同宣言が調印され、同宣言において、ソ連は平和条約締結後の国後島、択捉島、歯舞群島、色丹島の日本への引き渡しに同意したものの、その後平和条約の締結に至らず、北方領土の帰属は未解決問題として残された。

史料②

(C) 内閣が誕生しましてから、(C) さんは、<sup>(ウ)</sup>日米安全保障条約の改定というものを最大の政治課題として考えておられたようです。そういう展望の上に立って、これは相当、国内で騒動が起こるなど。あるいは、<sup>(エ)</sup>革新政党、革新勢力、あるいは学生その他が、相当抵抗するんじゃないかというようなことが予想されるので、……安保改正にのり出す前提条件、準備段階として、警察官職務執行法の改正というものを国会に提案をされた。

〔設問4〕

次の [01] から [05] の文章のうち、下線部 (ウ) に関する説明文として適切なものを選び、その番号を解答欄

(83) (84) にマークしなさい。

- [01] 改定後の条約では、日本の防衛力の増強が義務づけられ、具体的には日米地位協定に基づき毎年度GNP比1%以上の防衛費支出を強いられた。
- [02] 改定後の条約により、事前協議制が導入され、沖縄への核兵器持込みも事前協議の対象となったが、実際には、緊急時の核兵器の持込みを認める密約が存在したことが、近年公式に確認された。
- [03] 改定前の条約では条約の有効期限が定められていなかったが、改定後の条約では、発効後10年の有効期間が経過した後は、いずれの締約国も条約の終了の意思を通告することができるとされた。
- [04] 日本に対する間接侵略を抑止するため、改定後の条約には日本政府の要請で在日米軍が日本国内の内乱鎮圧に出動できるいわゆる内乱条項が新たに加わった。
- [05] 改定前の条約では、在日米軍基地の設置が認められるとともに、アメリカの日本防衛義務が明文化されていた。

〔設問5〕

下線部 (エ) に関連して、この改定を阻止しようとした動きの説明文として適切なものを [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄 (85) (86) にマークしなさい。

- [01] 安保改定をめぐる党内対立が一因となり、日本社会党から右派が脱党し、西尾末広率いる民主社会党が結成された。
- [02] 社会党、共産党、連合が安保改定阻止国民会議を開催して、安保改定反対運動を展開した。
- [03] ベ平連が反戦フォーク演奏会を開催して聴衆を集め、(C) 内閣が行おうとした安保改定を阻止する運動の一翼を担った。
- [04] (C) 内閣による安保改定を阻止するため、赤軍派の学生がよど号ハイジャック事件を起こした。
- [05] 激しい反対運動を前にして、(C) 首相はアメリカのL.ジョンソン大統領の日本訪問中止を要請した。

史料③

() 内閣は) この安保騒動のあとだけに、「寛容と忍耐」話し合いの政治ということは、非常に世論に受けた。世論も安心をした。 政治は本物だな、という印象を受けたと思う。と同時に、一方において、そのころの政治があまりにも防衛だとか、軍備だとか、そういうような印象が強いですから、このさい国民の目を、本当に生活に直結した経済の方向にむけていこうということで、 さんの年来の主張である所得倍増計画というものを、この大旗を掲げて  政治を展開しよう、と、こういうことにしたわけですね。

〔設問6〕

内閣の時期には、「大都市における人口及び産業の過度の集中を防止し、並びに地域格差の是正を図るとともに、雇用の安定を図る」(第1条) こと等を目的とする法律が制定された。その法律名として適切なものを語群より選び、その番号を解答欄   にマークしなさい。

〔設問7〕

下線部(オ)に関連して、 内閣期の「生活」、「経済」に関する説明文として適切なものを次の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄   にマークしなさい。

- [01] いわゆる「3C」の一つであるカラーテレビの普及率が、白黒テレビの普及率を上回った。
- [02] 高度経済成長にともない公害が深刻な問題となり、新潟水俣病訴訟が起こされた。
- [03] 日本の貿易黒字が急増した結果、1ドル=360円の固定相場が維持できなくなり、1ドル=308円とするスミソニアン体制に移行した。
- [04] エネルギー源が石炭から石油へ転換していったため、炭鉱労働者を救済するために傾斜生産方式が閣議決定された。
- [05] 国際収支上の理由により輸入制限を行うことができないGATT11条国に移行した。

史料④

(E) という人は非常に真面目な人でね。大蔵大臣をやった当時から、国の財政はなかなか容易でないと、そういうようなことから、<sup>(カ)</sup>大型間接税というものを導入せねばいかんというような考え方を持っておって、それを……総選挙の公約として国民の支持、理解を求めていこうということで、だいたい宏池会の中でも慎重論があったんだけれども、彼は押し切って、これを選挙公約の中にとり上げた。

その結果、国民の皆さんの拒否反応にあって、選挙に非常な悪影響が出、結果は非常にまずかった。……ですから、保革伯仲といいますが、極端にいうと、無所属で当選したものを自民党に入党させて、なおかつ保革伯仲のすれすれというようなことです。当時の (93) (94) の協力を得て、かろうじて本会議等を乗り切ったというようなことで、(E) 政権は国会等においても茨の道を歩むような苦労を重ねたものなんです。

〔設問 8〕

(E) にあたる人物名として適切なものを語群より選び、その番号を解答欄 (91) (92) にマークしなさい。

〔設問 9〕

空欄 (93) (94) に入る政党は、自民党の金権政治に対する反発等から生まれた。その政党名として適切なものを語群より選び、その番号を解答欄 (93) (94) にマークしなさい。

〔設問10〕

次の [01] から [05] の文章のうち、下線部 (カ) に関する説明文として適切なものを選び、その番号を解答欄 (95) (96) にマークしなさい。

- [01] 菅直人内閣は、消費税率の引き上げを柱とする社会保障・税一体改革を行おうとしたが、総選挙で敗北し政権を失った。
- [02] 「戦後政治の総決算」を掲げた内閣は、大型間接税導入のための法案を国会に提出したが、衆議院で自民党が単独過半数を得ていなかったために導入に失敗した。
- [03] 財政構造改革法を成立させた内閣は、消費税率を3%から5%に引き上げた。
- [04] 日米構造協議により間接税中心の税制とすることを求められた (E) 内閣は、大型間接税の導入を試みたものの、その導入に失敗した。
- [05] 小泉純一郎内閣の後を受けた第一次安倍晋三内閣は、消費税率を5%から8%へと引き上げた。



そこで、土光さんが会長になって神に祈るような真摯な陣頭指揮で取り組んでいただいた結果「行革は天の声である」と、世論もマスコミも、挙げてこれはぜひやるべきだという空気になった。だから当時は、この行財政改革に反対するような意見はほとんど出てこなかった。反対すれば世論の袋たたきにあうというぐらいにまでに、行財政改革という気運が澎湃として巻き起こった。これは私は、大成功だったと思うんです。その敷かれたレールの上を、国鉄改革がはしり、また、電々公社改革がはしり、そして専売公社の改革が行われた。レールができたわけですから、その上を次から次へと成案を得次第、具体的な問題を政治の課題にのせていったと。こういうことですね。

## 〔設問11〕

下線部（キ）にあたる土光敏夫が会長となった第二次臨時行政調査会は、このインタビューの語り手である  が発足させた。 にあたる人物名として適切なものを語群より選び、その番号を解答欄   にマークしなさい。

## 〔設問12〕

下線部（ク）に関連して、国鉄や国鉄改革についての説明文として適切なものを次の [01] から [05] のなかより選び、その番号を解答欄   にマークしなさい。

- [01] マイカーの普及により、1960年代半ばには、乗用車の国内旅客輸送分担率が国鉄のそれを上回った。
- [02] 日本列島改造を掲げる田中角栄が首相在任中、東京と新潟を結ぶ上越新幹線が開通した。
- [03] ケインズ主義を批判する新保守主義が国際的潮流となるなか、1985年には、国鉄、電電公社、専売公社の三公社が民営化された。
- [04] 1964年に東海道新幹線が開通したが、この年、国鉄財政は単年度で赤字に陥った。
- [05] 国鉄赤字を救済することを目的の一つとして、 内閣は戦後初めて赤字国債（特例国債）を発行した。

[語群]

- |                |              |               |                 |
|----------------|--------------|---------------|-----------------|
| 01. 浅沼稻次郎暗殺事件  | 02. 宇野宗佑     | 03. 大平正芳      | 04. 海部俊樹        |
| 05. 過度経済力集中排除法 | 06. 公害対策基本法  | 07. 公明党       | 08. 国民生活安全緊急措置法 |
| 09. 三月事件       | 10. 下山事件     | 11. 自由党       | 12. 昭和電工事件      |
| 13. 新産業都市建設促進法 | 14. 新自由クラブ   | 15. 新進党       | 16. 新生党         |
| 17. 新党さきがけ     | 18. 新都市計画法   | 19. 鈴木善幸      | 20. 砂川事件        |
| 21. 造船疑獄事件     | 22. 大規模小売店舗法 | 23. 竹下登       | 24. 田中角栄        |
| 25. 炭鉱国管疑獄     | 26. 通信傍受法    | 27. テロ対策特別措置法 | 28. 中曽根康弘       |
| 29. 二・一ゼネスト    | 30. 日本新党     | 31. 農業基本法     | 32. 破壊活動防止法     |
| 33. 福田赳夫       | 34. 細川護熙     | 35. 三木武夫      | 36. 民社党         |
| 37. 民主党        | 38. リクルート事件  | 39. 労働施策総合推進法 | 40. ロッキード事件     |

※受験生の便宜を考え、人名については姓と名を表記している。